

令和4年度 事業報告

1 総括

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業実施となりましたが、ホテルを利用した総会の開催、支部総会の一部実施、学校海外研修の一部実施等、各事業で再開に向けた取り組みを進めることができました、

特に、藩校創立230周年となる節目の年に当たり、多くの皆様のご協力のもと、座談会の開催、バッジの作成、植樹、母校の教育環境整備支援の各事業を記念事業として実施いたしました。

実施した事業の具体的な内容は次のとおりです。

2 本部事務局の活動状況

(1) 会議等の開催状況

- ・第72回総会 6月18日(土) 10:00～ ウィンストンホテル
会員、評議員、本部役員、学校関係者を含め出席者73名
祝賀会、懇談会を行わずに開催
- ・評議員会 5月21日(土)予定 中止
- ・役員会5回開催(4/16、7/16、10/8、1/7、3/11) 於地域交流施設

(2) 各支部等との連携

招待を受けた各支部、同期会の総会、懇親会に会長(または代理)が出席し、本部との連携を深めました。

- ・10月29日 八千代鹿山会 ・11月19日 成田鹿山会
※その他の地域支部、同期会等は開催中止若しくは縮小開催。

(3) その他

- ・村山会長、谷口校長先生が堀田家正倫忌に参加いたしました。
(令和5年1月7日)

3 各委員会の活動状況

(1) 総務委員会

- ・総会、役員会等の会議開催及びその準備
- ・年会費、入会金、会報広告料等の納入通知及び収納事務

- ・予算、決算、事業計画等の作成
- ・各支部との連絡調整等
- ・「県立移管 120 周年記念誌」の販売

(2) 広報委員会

- ・「鹿山会報」第 18 号の編集発行 発行日 10 月 20 日(木)
配布先：会員（約 17,000 人）及び在校生等（約 2,000 人）
印刷部数：1 万 9,000 部
- ・鹿山会ホームページの管理運営
鹿山会及び母校に関する情報発信、トピックス 6 回更新等

(3) 教育振興委員会

①生徒奨励

- ・新入生への校章贈呈（令和 4 年 4 月 7 日入学式：320 名）
- ・卒業生に卒業証書フォルダー贈呈（令和 4 年 3 月 7 日同窓会入会式）

②部活動奨励

- ・関東大会(準ずるものを含む)以上の競技会への参加助成
カヌー部（全国大会、夏・秋関東大会出場）
陸上部（夏・秋関東大会出場） 工芸部（全国大会出場）
書道部（全国大会出場） 化学部（全国大会出場）

③国際交流支援

- ・シンガポール派遣事業への助成 令和 5 年 1 月 25 日～28 日
生徒 13 名 引率教員 2 名

※その他に予定していたオランダ、ドイツへの派遣事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。

(4) 鹿山文庫委員会

①鹿山文庫講演会(母校と共催)

- ・令和 4 年 11 月 26 日(土)午後 2 時～
『堀田正睦と幕末外交』～未来攘夷と即時攘夷～
講師：町田明広氏 神田外語大学国際コミュニケーション学科准教授（現教授）

日本研究所副所長

受講者数：47名（鹿山会役員、教員等高校関係者14名を含む）

②全国藩校サミットへ参加

・11月19日(土)～20日(日)に、広島県福山市で開催。

鹿山会特別顧問佐倉堀田家13代当主 堀田正典様御夫妻、
鹿山会会長村山夫妻が出席されました。

(5) 藩校創立230周年記念事業の実施

① 記念座談会の開催

総会開催に併せて、藩校創立230周年記念座談会を開催。

「藩校を語る～歩みと藩校の今日的意義～」

座談会 佐倉堀田家13代当主 堀田正典氏

千葉市郷土博物館 外山信司氏

藤橋陽子 鹿山会副会長（司会）

出席者：73名

② 記念バッジの作成、配布

記念館をモチーフとした生徒のデザインによる記念バッジを作成。

1,500個作成：在校生、総会出席者等に配布。

③ 記念植樹

令和5年3月10日（金） 本校東館前に「陽光桜」を植樹、
記念銘板を設置。

④ 「探究学習」推進に向けた環境整備支援

令和4年度から新指導要領により、「総合的な探究の時間」が設置されることとなり、これに向けた学校の先進的な取り組みを支援。

・「鹿山メディアルーム」の整備

従来のLL教室を鹿山メディアルームとして再整備

（可動式机・椅子45セット、プロジェクター、モニター、
パーテーション等を整備）

藩校創立230周年記念事業紹介

1 記念座談会 [事業費：132,296 円]



2 記念バッジ (本校生徒のデザインによる) [事業費：336,050 円]



3 記念植樹 陽光桜・記念銘板 [事業費：219,450 円]



4 鹿山メディアルームの整備 [事業費：3,962,266 円]



令和4年度 決算

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減	備考
1 入会金	1,280,000	1,236,000	△ 44,000	卒業生入会金 309人
2 年会費	4,000,000	3,963,186	△ 36,814	年会費及び寄附金 970人
3 雑収入	800,000	160,052	△ 639,948	会報広告収入 160,000 預貯金利息 52
4 繰入金	2,500,000	2,500,000	0	基本基金会計から繰入 (230周年記念事業費として)
5 繰越金	8,483,919	8,483,919	0	前年度より
合 計	17,063,919	16,343,157	△ 720,762	
(支出の部)			△→超過額	
科目	予算額	支出済額	比較増減	備考
1 総務費	3,990,000	2,693,698	1,296,302	
(1)会議費	1,200,000	301,103	898,897	総会会場費 叙勲受章者記念品 役員会弁当・お茶代
(2)財務費	2,300,000	2,272,267	27,733	年会費案内・鹿山会報発送委託 (株サラト)
(3)交際費	240,000	30,198	209,802	支部総会参加費 正倫忌御香料
(4)事務費	250,000	90,130	161,630	通信費、消耗品費等
2 広報費	770,000	615,657	154,343	
(1)鹿山会報費	700,000	581,020	118,980	19,000部印刷経費等 (会員及び在校生等へ配布)
(2)ホームページ費	40,000	25,780	14,220	ホームページ管理委託料
(3)事務費	30,000	8,857	21,143	
3 教育振興費	2,280,000	1,807,896	472,104	
(1)生徒奨励費	630,000	664,590	△ 34,590	新入生校章 140,800 卒業記念品 181,920 鍋山祭助成 240,000 ようこそ先輩 45,000 等
(2)部活動奨励費	800,000	552,796	247,204	カヌー部(関東・全国) 陸上部 (関東) 工芸部(全国) 書道部 (全国) 化学部 (全国)
(3)国際交流支援費	850,000	590,510	259,490	シンガポール研修助成 語学講座助成等
4 鹿山文庫費	150,000	108,276	41,724	
(1)保存管理費	100,000	78,276	21,724	管理指導員謝金 (地域交流施設)
(2)藩校継承費	50,000	30,000	20,000	鹿山文庫講演会講師謝礼
5 藩校創立230周年 記念事業費	5,000,000	4,650,062	349,938	記念座談会会場費 102,296 講師謝礼 30,000 記念バッジ作成 336,050 記念植樹 219,450 教育環境整備支援 3,962,266
6 予備費	4,873,919	0	4,873,919	
支出合計	17,063,919	9,875,589	7,188,330	
翌年度繰越金		6,467,568		
総 計		16,343,157		
2 基本基金会計 (積立金)				
科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前年度末現在高	17,954,348	17,954,348	0	前年度より
増 積立 (+)	152	151	0	利子
減 取崩し (-)	2,500,000	2,500,000	0	一般会計への操出
当年度末現在高	15,454,500	15,454,499	0	翌年度へ繰越

財産目録

令和5年3月31日現在

科目：流動資産、普通預金

(単位：円)

預金内訳	金額	備考
千葉銀行佐倉支店	3,023,647	一般会計
ゆうちょ銀行佐倉支店	3,443,921	一般会計 (年会費等振込口座)
千葉銀行佐倉支店	15,454,499	基本基金会計
計	21,922,067	